

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
河原デザイン・アート専門学校		平成13年4月3日	白石隆保		〒790-0002 愛媛県松山市二番町1丁目12-2 (電話) 089-931-9111																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人河原学園		昭和60年10月21日	理事長 河原成紀		〒790-0001 愛媛県松山市一番町1丁目1-1 (電話) 089-943-5333																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
文化・教養	文化・教養関係専門課程	グラフィックデザイン科			平成22年文部科学大臣告示第30号	-																					
学科の目的	職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものとする																										
認定年月日	平成 26年 3月 31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1710時間	240時間	1140時間	450時間	0時間	0時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
60人		59人	0人	2人	19人	21人																					
学期制度	■前期:4月10日～9月15日 ■後期:10月2日～2月25日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験の結果によって評価																						
長期休み	■学年始:4月10日 ■夏季:7月24日～8月20日 ■冬季:12月23日～1月10日 ■学年末:2月26日～4月9日			卒業・進級条件	出席率90%以上 卒業基準検定の取得 期末試験合格																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者との面談			課外活動	■課外活動の種類 NPOましまろプロジェクト・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) セキ株式会社、株式会社カミオジャパン ■就職指導内容 就職三者相談会、履歴書の添削指導、面接指導 ■卒業業者数 29 人 ■就職希望者数 29 人 ■就職者数 29 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩士検定 3級</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス著作権検定 初級</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> 第13回 若年者ものづくり競技大会 グラフィックデザイン職種(愛媛県代表として2名出場)※伊藤 玲央那(敢闘賞) 第55回 愛媛広告デザイン賞 ヤング・クリエイター大賞 ★銀賞1点、銅賞1点、特別協賛社賞1点、特別審査員賞1点、入選9点、佳作6点 など			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩士検定 3級	③	19人	12人	Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	16人	13人	Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	16人	9人	ビジネス著作権検定 初級	③	18人	9人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
色彩士検定 3級	③	19人	12人																								
Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	16人	13人																								
Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード	③	16人	9人																								
ビジネス著作権検定 初級	③	18人	9人																								
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成31年4月1日時点において、在学者51名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者59名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 精神的な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 学業不振を防ぐために小テストの実施と補習を行う。変化に気づくための個別面談。 不登校の学生に対する専門家によるカウンセリングの実施など。			■中退率 4.8 %																							

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ■河原学園奨学生制度 種類:給付型(返還義務なし)</p> <p>■授業料等減免制度 ★入試特典:AO入試(初年度授業料10万円減免)、指定校推薦入試(初年度授業料15万円減免)、推薦入試(初年度授業5万円減免)、一般入試・自己推薦特典(初年度授業料3万円減免)、一般入試・大学短大社会人特典(入学金半額減免)</p> <p>★高校生向けの支援制度 ■河原学園特待生制度 SSS級:学費100万円減免、SS級:学費50万円減免、S級:学費25万円減免、A級:学費15万円減免 ■河原学園特別学生寮制度 第一種/寮費:無料 第二種/寮費:月額1万円 ■一人暮らし支援制度/支援額:月額5千円支給 ■通学定期代支援制度/支援額:月額5千円を上限として通学定期代の一部を支給</p> <p>★大学・短大・社会人向けの支援制度 ■再入学制度/入学金全額免除 ★全対象の支援制度 ■家族制度/減免額:授業料5万円減免 ★入学後に利用できる制度 ■進級時特待生制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>URL: http://www.kawahara.ac.jp/idea/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門学校の職業教育のモデルは、業界の実務動向、社会の変化がその基盤になければならない。したがって教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教務系会議の中核的委員会として位置づけ、前期末、後期末の総括会議(科目検討、シラバス検討、コマシラバス検討、授業法検討など)において、計画上の可否、実行上の可否判断に関連外部実務家の意見をたえずフィードバックさせる会議体として機能させることとする。議事録などには、新科目開設の必要の有無、シラバス・コマシラバス改善の必要の有無、教授法改善の必要の有無などを科目単位で具体的にアジェンダ集約し、改善の中身が具体的にわかるよう会議を集約することを会議規程としても明白化している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
清水 裕孝	エヒメデザイン協会 会員	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
柳原 卓	アーバンデザインセンター□	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	②
桑波田 健	岡田印刷株式会社 □	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年10月31日 17:00～18:30

第2回 令和2年 3月28日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会にて実践的なカリキュラムを増やすべきとの指摘があったため、問題解決型の授業スタイルの提案などの意見をカリキュラムに取り入れる。昨年度からグラフィックデザイン科2年の卒業制作としてデザインで松山市を活性化させるデザイン提案を行政、まちづくり協議会、企業を招きプレゼンテーションを実施中。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的に実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

フリーペーパーの企画・制作・発行に至るプロセスを企業と連携することにより実践的に学ぶ。具体的には、NPOましまろプロジェクトとして「絵本のフリーペーパーましまろの発刊」、自らがメディアを持つことにより、出版物の制作の流れ(編集・取材・営業・デザイン・配付など)を自らが体験し、それぞれの役割を理解する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
メディア企画演習Ⅰ	出版物を制作するための企画書の作成・ワークフローの理解、マーケティング、営業のロープレ等を通して、企画提案できるクリエイターの育成を目指す。	有限会社ストリング
コピーライティング概論	取材内容をスムーズに伝えることができるライティングの技術を習得する。受け手に想いが伝わる言葉の選び方、考え方を体系化し、テクニックとして身につけ、感性を磨いていくことを目的とする。	プランニングオフィス アーク
商業デザイン演習	広告制作に関する基礎的理論の理解と基本的な制作技術の習得を目的とする。	デザインオフィスIRODORI
ブランディング論	デザインが自己完結にならず、消費者にとってどういう意味をもっているかを理解することを目的とする。	敏デザインオフィス有限会社
商品企画実践	商品の企画「プランニング」を学び、企画力を身に着ける。グループワークにて、それぞれ商品を企画し、プレゼンまで行う。	プランニングオフィス・アイ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第56回ヤング・クリエイター大賞セミナー」(連携企業等:愛媛新聞社)

期間:令和2年9月23日(水) 対象:恵原/伊藤

内容:株式会社シンプル 正岡氏より、広告の考え方や視点についての講義の後、実際にクライアントとの打ち合わせ風景をデモンストレーションした。デザインの考え方や、現場の雰囲気を感じ、学生にフィードバックを行った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コマシラバス研修」(連携企業等:なし)

期間:令和1年12月24日(火) 対象:全教職員

内容:コマシラバスの概念、作成、注意点などの研修

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「松山ワカモノ宣伝会議」(講師:藤本耕平氏 ADKプランニング・ディレクター/田中淳一氏 POPS代表/浅田政志氏 写真家)

期間:令和2年9月19日(土)/対象:恵原/伊藤

内容:松山の魅力を見つけて、ポスターを制作するワークショップ。計3回プロのクリエイターから指導いただく。最終的に若者に向けた松山の魅力を紹介するポスターを制作し、各地で移動展が行われる予定。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「すららネット」(連携企業等:すららねっと)

期間:令和2年4月1日(水) 対象:全教務担当者

内容:基礎学力向上のための「すらら」の運用についての研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検評価の客観性・信頼性や社会的ミッションの取り込みを加速させる取り組みでなければならない。そのことによって、組織的、継続的な学校改善に実質的に寄与する自己点検評価の質的向上を図ることとする。またステークホルダーとしての関係者評価にとどまらず、将来的には、関係者を越えた第三者評価に発展しうる質の高い関係者評価を目指すこととする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的
(2)学校運営	組織・管理運営
(3)教育活動	教育
(4)学修成果	基本指標
(5)学生支援	就職指導、学生支援
(6)教育環境	設置基準項目(施設設備等に関する事項)
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	設置基準項目、組織・管理運営(法令遵守)
(10)社会貢献・地域貢献	学校教育以外の諸活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・学校関係者評価委員会のご意見については議事録を作成・保存しており、ご意見を頂いた内容を基に次年度以降の学校運営の計画を策定している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
野中 尚子	在校生保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
宮川 春香	卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
宮内 慎	一般社団法人愛媛県建築士事務所協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
森田 聡	株式会社総合資格 松山支店	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
鈴木 正	株式会社愛媛CATV 技術・放送本部	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
濱谷 麗子	セキ株式会社	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
門脇 誠	未来高等学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.kawahara.ac.jp/idea/>

公表時期: 令和2年10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

高度な職業教育への研鑽を組織的、継続的に推進するためには、組織的、継続的な企業連携が必須とわれわれは考えている。その連携を有意義なものとするためには、企業にとって、学校の教育人材目標やその現状が体制として見えやすいものになっていなければならない。教育課程編成会議、学校関係者評価会議などの会議規程の透明性や開放性は

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・目的、沿革、組織・管理運営、設置基準項目(施設設備等)
(2)各学科等の教育	基本指標、教育、設置基準項目(学生に関する事項)設置基準項目(教
(3)教職員	設置基準項目(教員等に関する事項)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動以外の諸活動
(6)学生の生活支援	学生の受け入れ
(7)学生納付金・修学支援	設置基準項目(財務に関する事項)、学生の受け入れ
(8)学校の財務	財務
(9)学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価結果公開資料
(10)国際連携の状況	学校教育以外の諸活動
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.kawahara.ac.jp/idea/>

授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程グラフィックデザイン科) 令和2年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			Photoshop基礎	Adobe Photoshopの基本操作の習得。サーティファイ主催 Photoshop能力認定試験スタンダード級取得を目指す。	1前	60		△	○		○	○		
2	○			Illustrator基礎	Adobe Illustratorの基本操作の習得。サーティファイ主催 Illustrator能力認定試験スタンダード級取得を目指す。	1前	60		△	○		○	○		
3	○			Photoshop、Illustrator応用	Photoshop、Illustratorを使用した課題の作成。キャラクター、名刺、カレンダー等のデザイン作成。ポートフォリオの作成/ポートフォリオ用作品の作成。	1後	60		△	○		○	○		
4	○			DTP基礎	広告制作に関する基礎的理論の理解と基本的な制作技術の習得をする。	1後	60		△	○		○	○		
5	○			ペーシックデザイン	基礎製図、平面構成、レタリング、表現基礎、立体構成など。デザインの基本的な知識と技術を習得する。	1前	30		△	○		○	○		
6	○			色彩理論	色彩についての基礎から応用まで幅広い知識と技能を身につける。全国美術デザイン専門学校教育振興会主催色彩士検定 3級取得を目指す。	1前	30		△	○		○	○		
7	○			ビジネス著作権論	作品制作において必要不可欠な著作権の知識を習得する。サーティファイ主催 ビジネス著作権検定 初級取得を目指す。	1前	30		○			○	○		
8	○			商品企画提案	商品の企画「プランニング」を学び、企画力の育成を目指す。グループワークにて、それぞれ商品を企画し、プレゼンまで行	1前	90		△	○		○		○	○
9	○			情報収集論	写真取材からコミュニケーション能力を向上させる。取材内容をパワーポイントで発表し、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	1前	30		○	△	○	○		○	○
10	○			メディア企画立案	街広告の制作から企画提案能力を向上させる。提案したデザインをパワーポイントで発表し、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	1後	60		○	△	○	○		○	○
11	○			画材研究	手を使った描画表現力を鍛えるため、様々な画材を使用し、スケッチ・ドローイング・デッサン・模写など、一番身近な手という道具を使いこなす技を身につける。	1前	30		△	○		○	○		
12	○			イラストレーション基礎	ホスターカラー、リキアツクス、透明水彩、水彩色鉛筆など画材の種類と特性を理解する。画材を活かした技法を学び、作品制作の表現の幅を広げる	1後	60		△	○		○		○	
13	○			デザイン業界研究	広告業界全般の状況・デザインのワークフローを理解し、デザインに関連した職種・業種の理解、グラフィックデザイナーの仕事を知る。	1通	30		○	△		○		○	

30	○	キャラクターデザイン	広告制作の上で必要とされるイラストレーションを中心に各媒体ごとに対象や目的・表現方法などの制約から指定し、条件をクリアするキャラクターを作成する。	2前	60			○		○				○
31	○	卒業作品制作	街広告の第2弾としてデザイン提案を実施する。人の役に立つデザインを目指し、クライアントの満足するデザインを提供	2後	30			○	○	○	△	○		
32	○	ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナーの習得。手紙の書き方、メールの送信、名刺の渡し方、など社会人として恥ずかしくないマナーを習得する	2後	30			○	△		○	○		
33	○	メディア企画実践Ⅱ	NPOましまろプロジェクトとしてのフリーペーパーを発行（年4回）運営から企画・制作・編集・広報業務を体験し、媒体を自らが持つことにより出版業務全般の流れを学ぶ	2後	30			○	△	○	○	△		○
34	○	公募展作品制作Ⅳ（ヤングリ）	愛媛新聞社主催ヤングクリエイター大賞への作品の出品（1人3点）クラスからの上位入賞と半数以上の佳作、入選を目指す。	2後	90			○		○		○		
35	○	InDesign 基礎	InDesignの基本的な操作から各種印刷用のテクニックまでテキストを中心に使い習得する。またそれぞれの項目の復習として指示された通り制作しオペレーション技術向上を図る	2前	30			△	○		○			○
合計				35科目	単位時間(170 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
出席率90%以上、卒業基準検定の取得、期末試験合格		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。